

稱讃

二二五号

二〇二二年九月一日発行

新型コロナウイルス渦中
お見舞い申しあげます
ワクチン接種後も外出時はマスクをし、三密を避けてください。また、気象・気温の変動にもご留意いただき、ご自愛ください。

発行 浄土真宗本願寺派 稱讃 寺

〒二二一〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三―五二四二―二〇二五

FAX 〇三―五二四二―二〇二六

HP shousanji.com

この身は、いまは、としきはま
りて候へば、さだめてさきだち
て往生し候はんずれば、浄土に
てかならずかならずまちな
らせ候ふべし。
あなかしこ、あなかしこ。

『親鸞聖人御消息』(二十六)

この間、あるお寺さんの代行で、そのお寺さんのご門徒さんのお葬儀に出仕させていただきました。

式が終わり、お棺にお花を手向けられた後、ご往生なされた方の娘さんが、涙を浮かべながら、亡きお父さんの額を撫でながら、「またネ」と囁いておられる姿を拝見して、「いい空間だなあ」と思いました。

火屋のおつとめをして、帰り際に、その



稱讃寺カメラより

八月二六日

稱讃寺

のんのん法話会

兼 孟蘭盆会法要

娘さんに、「素敵な言葉でした」と言わずにはおれませんでした。
ご遺族の方々へ、生前のお父さんのお姿を視たり、会話できたりすることは、できないことはご承知のうえで、お父さんを通して、兼ねてから浄土真宗の教えをお聞きされていたでしょう。「俱会一処」の教えを味わっておられるのだなあと思いました。

親鸞聖人は、「浄土にて、かならずかならずまちならせ候ふべし」とおっしゃられました。

森田真円氏が、『埋み火』（本願寺出版社）の中で、「お念仏を通して、亡き人が私の所に、南無阿弥陀仏となつてはたらいてください。それに今、出遇えているからこそ、やがてお浄土で、また再び会うことが出来る。」(p83～p84)と述べておられます。

お盆を過ごされ、秋のお彼岸をお迎えするにあたり、あらためて、有縁の先人方がお浄土から、刹那に今、南無阿弥陀仏と遇いにきておられると味わいたいと思います

ぶっくうしょうようさいだいいち
仏光照曜最第一
こうえんのうぶつ

光炎王仏となづけたり
さんず こんあん
三塗の黒闇ひらくなり
だいおうぐ きみよう
大応供を帰命せよ

(『浄土和讃』讃阿弥陀偈讃より)



稱讃寺 孟蘭盆会法要

八月一六日(月)ののんのん法話会は、「孟蘭盆会」を兼ねて開催いたしました。高橋八重子さんがご参拝になられ、住職の姉と三人で、讃仏偈・正信偈のおつとめをいたしました。

毎年夏は、お盆・広島長崎の原爆投下の日、終戦記念日を迎えます。亡き先人を、仏さまとして敬う、本来の意味での「供養」(讃嘆供養)として仏徳讃嘆のおつとめをしたいものだと思います。

上述のご和讃は、『浄土和讃』六首目の和讃で、よく読まれるご和讃の一つです。

最後の「大応供」とは、親鸞聖人がお呼びになっている阿弥陀さまの別名の一つであります。その前の首の「真実明」「平等覚」「難思議」「畢竟依」もお名前であり、「帰命せよ」と称讃しておられます。

「大応供」とは、「最も尊敬(供養)に値する方」との意味であります。

阿弥陀さまは、その光(はたらき)は最も輝き照らしてくださいから、光の王の仏と名づけられる。私たち衆生の苦悩の闇を照らし明らかにしてくださいさる最も敬い申す阿弥陀さまに全てを委ねましょう。

私たちの先人を通して、阿弥陀さまは、南無阿弥陀仏(必ず救います。この私に任せてください)と呼び続けておられることに手を合わす営みがお盆だと思います。

稱讃寺 秋季彼岸会法要

おつとめのお知らせ

〈日時〉

九月二六日(日) 午後二時

〈日程〉

一四：〇〇 おつとめ

● 『仏説阿弥陀経』

● 「み仏にいだかれて」

一四：四〇 おはなし 住職

一五：〇〇 恩徳讃 終了

東京では、「緊急事態宣言」中であります。

お彼岸期間が終わってからの開催でございます。

通常の「のんのん法話会」に兼ねておつとめします。

ご参拝の有無のご返信は取っておりません。日曜日にあたりますので、ご都合がよろしければご参拝ください。

心よりお待ちしております。

浄土真宗の教章(私の歩む道)

〈生活〉

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の
み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身を
ふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱
などにたよることなく御恩報謝の生活を送る。

親鸞聖人のご和讃『正像末和讃(悲歎述懷讃)』に、

かなしきかなや道俗の
良日・吉日えらばしめ

天神・地祇をあがめつつ
ト占祭祀つとめとす

と詠われています。また、『高僧和讃(善導讃)』では、

仏号むねと修すれども
現世をいのる行者をば

これも雑修となづけてぞ
千中無一ときらはるる

と詠われています。

上記の「浄土真宗の教章」の浄土真宗のご門徒の生活姿勢として記載されている「現世祈禱」の否定は、「現世利益」そのものを否定しているわけではないのでしよ

う。上述の親鸞聖人の一首目の和讃は、現世の利益を得るために、日の良し悪しにこだわったり、神仏に頼んだり、占いに頼ることを否定されたのではないのでしょうか。二首目の和讃は、「南無阿弥陀仏」のお念仏をとえながら、この世でのしあわせ(ご都合主義)を願うのは、浄土往生とは無縁の行いであり、阿弥陀さまのご本願とは全く違いますよと、私たちに告げてくださっているのではないのでしょうか。

『教行信証』(信文類)には、
金剛の真心を獲得すれば、横に五趣八難の道を超え、かならず現生に十種の益を獲。なにもものか十とする。一つには：

とあります。また、『浄土和讃』には、「現世利益讃」十五首があります。

「現生」と「現世」はどう違うのか疑問に思い、インターネットで違いを調べてみました。殆ど同意語に扱われていましたが、一つだけ、次のようなことが掲載されておりました。

現生の利益と現世の利益

私たちは、美しい花を見ると、その花の美しさをほめるけれども、花を咲かせている根っこということはすこしも思わないことがあります。現世の利益というのは、美しく咲いている花です。それに対して現生の利益というのは、美しい花を咲かせている根っこでしょう。真宗は現世の利益など問題にしない、そういう話ではないのです。現世の利益を求めないような者

は、人間ではないでしょう。私たちは、やはり人間としての幸せを求めるから、いろいろな現実の問題とたたかうことがあるでしょう。ただ問題は、私たちは花だけを摘み取ろうとすることです。花だけを摘み取れば、花はすぐしおれてしまいます。つまり、現世の利益というもののだけを求めると、それは必ずしおれてしまう。花だけを摘み取ればしおれるというのは、言い換えれば、美しい花を見た感激というか、よろこびがおとろえてしまうことです。それは根っこがあつてはじめて本当によろこべるのです。【ごころはひとつ】という歩み 唯信鈔に聞く 宮城 顕 法蔵館 PT5より】

コメント

「現世の利益」を求めることは、生きていくうえで大事なことです。それは、生きる原動力となるからです。生きる糧ともいえましょう。さらに掘り下げて、(生きる)その先に死が待っている、ということ意識して生きていく(現生の利益を意識して生きていく)ことはより充実した人生を送るうえで大事なことでないでしょうか。

「現生の利益」をえた生活(生死問題が解決している生活)は大安心です。生死問題という人として生きている根本的な問題が解決されていますから、こころでいう、美しい花だけでなく、その「根っこ」を意識した生活をしていきたいものです。

おかげさまで 今日も 南無阿弥陀仏

「手品師」さんのブログより

京都の北野天満宮で、神職と比叡山延暦寺の僧侶と一緒に疫病退散などを願う神仏習合の儀式「北野御霊会」が行われ、新型コロナウイルスの終息を祈願。「北野御霊会」は千年以上前に始まったが、応仁の乱以降途絶えていた。昨年コロナ終息を祈願し再興された。



あれ、 神道と仏教が 一緒に 新型コロナ終息 を祈願？

上記の「北野御霊会」は、昨年も行われていたようですが、いつの時代であっても、私たちは、疫病や自然災害に対して恐れ、難を逃れるよう、また一刻も早く終息することを願うものであります。

昨年には、世界では、いくつかの宗教団体が、自分たちの信仰のもと、密集して新型コロナウイルスの退散を祈願して、逆に感染が広まったことがありました。

また、日本では、疫病退散を願って「アマビエ」がブームにもなりました。

政治家・医療者は、科学的根拠をもって、感染の予防に努めるよう促してきました。

科学が発達していなかった、親鸞聖人在世の時代、親鸞聖人が、越後から関東(稲田)に招かれ移動される途中、当時、上野国を治める任についていた、聖人の親戚筋の藤原信綱から災害で苦しむ佐貫荘に赴いて、救って欲しいとの依頼を受けます。

そこで、親鸞聖人は、家族と共に佐貫荘に赴くのですが、その情況から「衆生利益」のために浄土三部経を千部読誦することを決意しました。

しかし、数回繰り返した後、「自信教人信難中転更難」と思い返して、念仏の他には何の不足があるかと、ご自身の自力信があることを嘆かれ、読誦をやめられました。

良い状態になるよう、神仏に頼ることが、本願他力ではなく、それは逆に執心自力のあらわれなのだろうと思います。

浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)

850 800 年 慶讃法要

親鸞聖人御誕生 850 年 慶讃法要

立教開宗 800 年

ご縁を慶び、お念仏とともに

西本願寺

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shinji's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

Life of Hombutsu enables us to appreciate every encounter

2023(令和5)年

第1期	3月29日(水)~4月3日(月)	6時~11時
第2期	4月10日(月)~4月15日(土)	6時~11時
第3期	4月24日(月)~4月29日(土)	6時~11時
第4期	5月6日(土)~5月11日(木)	6時~11時
第5期	5月16日(水)~5月21日(日)	6時~11時

〒600-8001 京都市北区西本願寺1-1-1

TEL (075) 371-5181

親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年 慶讃法要企画

親鸞聖人を知ろう

日本浄土教の歴史と

親鸞聖人のご誕生

平等院

「一緒に歩こう」

親鸞さまの道 ①



2017年3月27日 専如ご門主 伝灯奉告法要 東組団体参拝

仏教には、お釈迦様の滅後、正法・像法・末法という時代順に仏教が衰えていくという歴史観（三時思想）があります。その中、末法の時代は、教えは残っているが、修行する人も、さとする人もいない仏教衰滅の時代で、日本では永承七（一〇五二）年に末法に入ると考えられています。

た。平等院はまさにこの年、時の関白藤原頼道が、父道長より譲り受けた別荘を寺院に改めたことから始まります。

平安時代中期、源信和尚の『往生要集』

によって黎明を告げた日本浄土教は、末法当来を現実と感じさせる混乱した世情によって、来世の救いをのぞむ貴族をはじめ庶民の間にも広まっていきました。永承七年創建の平等院は、平安浄土教の象徴ともいえる寺院なのです。

翌天喜元（一〇五三）年、阿弥陀堂が建立されます。この阿弥陀堂こそ、皆さんも

ご存知の「平等院鳳凰堂」で、十円硬貨に描かれているのもこのお堂です。

阿弥陀堂の見所の一つがご本尊の阿弥陀如来坐像です。作者は、「定朝様」という様式を確立し後代に絶大な影響を及ぼした仏師定朝です。彼の確実な作例はこの坐像のみといわれていますから、その価値のほどがわかります。

阿弥陀堂の壁と扉には「九品来迎図」

が、また阿弥陀仏の背後の壁には「極楽浄土図」が描かれ、さらに五十二体の「雲中供養菩薩像」が懸けられています。こうした仏教美術や周囲の浄土庭園などは、『観無量寿経』などに基づいて、裁縫極楽世界が表現されています。保延三（一一三七）年から同五年に三好為康が顕した『後拾遺往生伝』には、

極楽いぶかしくば

宇治の御寺をうやまへ

という童歌が収録されています。ここに「極楽浄土がよくわからず疑わしいのなら、平等院にお参りしなさい」と詠われているように、当時の人々にとって、平等院はまさに、極楽浄土のイメージそのものだったのでしょう。

平等院から三室戸寺へ

平等院から三室戸寺へは、「かげろうの道」と呼ばれる古道を通ります。この古道は、はじめはすぐ手前には、「源氏物語ミュージアム」があります。ここ宇治には、平安時代初期から貴族の別荘が営まれていました。『源氏物語』『宇治十帖』は、京の都ではなく、宇治を舞台としています。宇治橋の南側には、『源氏物語』の作者・紫式部の像があります。お時間のある方はお立ち寄りください。

さて、「かげろうの道」を進むと、京都翔英高等学校の側に、平安時代後期の作とされる石仏「線刻阿弥陀三尊仏」があります。石に刻まれた仏様はちよつと見えにくいですが、平等院とあわせて、当時の阿弥陀如来信仰のあり方を知ることができます。貴重なお像です。脇土の観音・勢至菩薩は、石の左右両側に刻まれていますから、お見逃しなく。

三室戸寺

三室戸寺（本山修験宗別格本山）は、親鸞聖人の父日野有範公ゆかりのお寺です。近年は、「あじさい寺」としても有名な三室戸寺。寺伝では、宝亀年間（七七〇～七

八一）に、光仁天皇が大安寺の僧行表に命じて建立したとされ、康和元（一〇九九）年頃に園城寺の隆明が中興したと伝わります。

親鸞聖人の父有範公は、長らく聖人幼少の頃に亡くなったと考えられていました。しかし戦後、本願寺の宝庫から見つかった『無量寿経』（存覚上人書写）の奥書に、有範公の中陰の際、親鸞聖人の弟兼有が加（漢文に返り点や送り仮名などを書き入れること）した旨が記載されています。これによって兼有は父が没した時点で加点できる年齢であり、有範公は聖人の幼少期に亡くなったのではないことがわかります。

有範公は、「皇太后宮大進」という官職についていましたが、出家して三室戸寺に隠棲したと考えられています。

親鸞聖人の兄弟は、聖人を含め四人の弟もすべて出家しています。これは異例なことと、有範公が何らかの問題によって失脚し、一族が困窮に陥ったことが原因とも考えられています。子どもたちと同様に自らも出家した有範公は、ここ三室戸寺に隠棲したのでした。有範公はこの地で何を思っていたのでしょうか。

三室戸寺の阿弥陀堂（四十八願堂）は、

もともと有範公の墓でしたが、親鸞聖人の末娘・覚信尼公が整備し、堂宇を建立して、阿弥陀堂としたとされます。また、有範公が隠棲した時のものとされる「四十八願寺」の額があります。

三室戸寺から日野の里へ

三室戸寺の次は、いよいよ日野の里です。日野への道はアップダウンがありなかなかハードです。交通量が多いですが、トンネルの中も歩道は十分広く、安心して歩けます。

親鸞聖人が誕生したここ日野には、次のような伝承があります。

齊明天皇元（六五五）年、中臣鎌足がこの地を訪れた際、一人の老翁に出会い、その翁は雨押雲根命であり、この地に自分を祀れば一族に天皇を補佐する臣が出ると託宣を受けたので、この地に社殿を造営したのでした。そして地形が奈良の春日野に似ていたため「春日野」と名づけて表札を立てたところ、鹿が来て「春」の字を舐め取ってしまいました。そこで鎌足は神慮と思い、この地を「日野」と改め、以降鎌足を祖とする藤原家の一門、日野家の所領としました。

法界寺

日野の地でまず参拝するのが、日野家ゆかりの法界寺（真言宗醍醐派）です。

法界寺は、平等院建立の前年にあたる永

承六（一〇五一）年に、文章博士であつた

すけなり

でんぎようだいしさいちよう

日野資業が、日野家に伝教大師最澄作と

して代々伝わる薬師如来像を安置し、薬師堂を建立したことに始まるとされ、当初は

天台宗だったようです。その後、永保元

えいほう

（一〇八一）年には、資業の子実綱が観音堂を建立し、以降諸堂が整備されます。

本堂である薬師堂は、明治三十七（一九

たつた

〇四）年に、奈良県龍田の伝燈寺を移築した

ものです。今日も、法界寺は日野薬師ま

たは乳薬師の名で親しまれ、薬師信仰が

脈々と続いていることが知られます。

阿弥陀信仰の高まりや末法思想の影響により、平安後期には四棟の阿弥陀堂が建立されました。また、その頃の法界寺には、

じようろく

少なくとも五体の丈六（約四・八五メー

トル）の阿弥陀如来像があつたようです。

親鸞聖人は、これら阿弥陀如来像のお側で幼少期を過ごされたことでしょう。

じようしきやう

しかし、承久三（一二二一）年の「承

久の乱」の災禍によって、法界寺の堂宇は、薬師堂のほか一堂を残して焼失し、阿弥陀如来像も一体のみとなってしまいました。その後、親鸞聖人が、生涯非常に尊敬し慕われた兄弟子の聖覚法印によって阿弥陀堂が再建されますが、その経緯は明らかになっていません。

再建されたのは、聖覚法印が亡くなる嘉

てい

禎元（一二三五）年までの間です。親鸞聖

じようえい

人が六十歳頃の貞永元（一二三二）年頃

帰洛されたと考えることや、その前後、聖

ゆいしんしやう

人が聖覚法印の『唯信鈔』を頻繁に書写

されていることなどを踏まえると、再建に

はお二人の関係が影響しているのでは？と

いった想像がふくらみます。

してんぼしち

堂内には、四天柱を立て須弥壇が置かれ

しゆみだん

ます。このような

配置は他に例がな

く、日本建築史上

重要なものとされ

ます。四天柱や

ないじん

内陣天井の内外に

は仏菩薩など、再

建当時の絵画が残

ります。

日野誕生院

法界寺のすぐ隣りに位置するのが今回の

ツアー最後の目的地、日野誕生院です。文

せい

政十一（一八二八）年、第二十代宗主広如

けんしやう

上人が、聖人誕生の地を顕彰するため

に、この地に「有範堂」を建立したのが始まりといわれます。

現在のお堂は、大正十二（一九二三）年の立教改宗七〇〇年を記念し、昭和六（一九三一）年に落成したものです。中庭には

どうとうろういつき

三方に回廊がめぐり、中心に銅灯籠一基が

すえられています。真宗のお寺のように見

えないのは、聖人の幼少期を偲ぶことができ

るよう、平安朝様式で造られているから

です。敷地内には、親鸞聖人六歳の姿を模

した銅像、さらに得度の際に詠んだと伝え

る和歌、

明日ありと思う心のあだ桜

よわ

夜半に嵐の吹かぬものは

の石碑があり、浄土教の歴史に大きな足跡を残された親鸞聖人の、小さくも力強い一歩を感じることができます。

稱讃寺では、四年前の二〇一七年の「専如ご門主 伝灯奉告法要」で、東組として団体参拝しました折、平等院と日野誕生院に参拝しました。

稱讃寺 行事予定

二〇二二年 九月の行事予定

- 五日(日) 日曜礼拝 休座
- 六日(月) のんのん法話会 午後二時
- 一二日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 一六日(木) のんのん法話会 午後二時
- 一九日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 二六日(日) 日曜礼拝 午前十時
 秋季彼岸会法要 午後二時
- ※お朝事のおとめ 毎日午前七時
- ※お夕事のおとめ 毎日午後六時

ききよらい
 帰去来
 大切な人たちの
 待 浄土
 二〇二二年「心のともしび」九月カレンダーより

二〇二二年 十月の行事予定

- 三日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 六日(水) のんのん法話会 午後二時
- 一〇日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 一六日(土) のんのん法話会 午後二時
- 一七日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 二四日(日) 日曜礼拝 午前十時

二〇二二年 十一月の行事予定

- 六日(土) のんのん法話会 午後二時
- 七日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 一四日(日) 日曜礼拝 午前十時
- 一六日(火) のんのん法話会 午後二時
- 二二日(日) 日曜礼拝 午前二〇時
- 二六日(金) のんのん法話会 午後二時
- 二八日(日) 日曜礼拝 午前二〇時

編集後記

清風宝樹をふくときは
 いつの音声いだしつ
 宮商和して自然なり
 清浄薫を礼すべし

『浄土和讃 讃弥陀偈讃』より
 今回のパラリンピックの閉会式のコンセプトは「調和する不協和音」でした。COVID-19の第五波の最中、結構テレビ観戦しました。「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」の言葉の通り、全選手の姿から思い知らされました(ボッチャには魅了されましたネ)。「この場でしか、輝けない」とおっしゃった選手もおられました。未だ現実はその中でも、社会一般でも特殊視することなく、誰もがお互いを「リスペクト(尊重)」する社会をめざすことなのだと思います。「不協和音」でまず思い浮かべるのは、親鸞聖人の和讃の「宮商和して自然なり」です。五つの音階で、「宮」と「商」は不協和音なのだそうです。絶対に調和しないのですが、阿弥陀さまの「本願」がはたらく世界では、それが調和していると讃えておられます。また『仏説阿弥陀経』には「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光 微妙香潔」(「本願」がはたらく世界は、それぞれがそれぞれの色で輝き、お互いが争うことなく尊重しあっている素晴らしい世界)とあります。また、二〇一一年、東日本大震災後の真宗大谷派の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の「ばらばらで いっしょ」のテーマです(本願寺派では、「世のなか安穩なれ」)。外見上の違いをお互いが認め合い、受け入れあう社会をめざすことは、私たち一人ひとりの努めとして、持続可能なことなのだろうと思いますが、そのことさえ難しいことでもあります。ミャンマーやアフガニスタンの状況を考えると、何が「調和する不協和音」だと思ってしまう。主義主張の違いをも包み込んで「本願を」一緒に聞き続けて参りましょう。